



新型コロナウイルス感染症対策 ～議事堂議場（9月7日 撮影）

 ひろお

議会だより

No.200

2021年12月1日発行

【令和3年第3回定例会】



広尾サンタランドマスコットキャラクター
「さーたちゃん」



町ウェブサイト
「広尾町議会」
QRコード

私たちの税金どう使われたか
議員の「なり手不足」解消へ
一般質問（5人が登壇）

令和2年度決算

特別委員会を設置

／学校指定カバン／町営合葬墓／降雨災害

より効率的な行財政運営に 第5次行政改革

2

6

12

20

○発行・編集／ 広尾町議会・議会広報特別委員会 E-mail g-gikai@town.hiroo.lg.jp

〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0180（議会直通） FAX 01558-2-2114

どう使われたか



令和3年 第3回 定例会

9/7～16

一般会計収入（歳入）合計 80億3449万円

自主財源	町税	9億5713万3521円 (11.9%)
	分担金・負担金	2億709万5081円 (2.6%)
	使用料・手数料	2億998万4306円 (2.6%)
	その他収入	10億351万3352円 (12.5%)
依存財源	地方交付税	34億5787万4000円 (43.0%)
	国庫支出金 (国からもらうお金)	11億5050万2049円 (14.3%)
	道支出金 (北海道からもらうお金)	2億8206万5018円 (3.5%)
	地方譲与税・交付金等	3億4202万3055円 (4.3%)
	町債 (借金)	4億2430万6000円 (5.3%)

令和3年第3回定例会は、9月7日（火）から16日（木）までの10日間の会期で開かれ、令和2年度決算認定（一般会計ほか9会計）のほか、議会基本条例の一部改正や令和3年度補正予算などが提案され、本会議・委員会で審議の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

※議案審議結果は10ページに掲載

令和2年度各会計収支（歳入・歳出）一覧

会 計 名	収入（歳入）	支出（歳出）
一般会計	80億3449万6382円	78億7847万5685円
港湾管理特別会計	1億2965万8379円	1億2827万5035円
簡易水道事業特別会計	1億2724万8094円	1億2486万9199円
下水道事業特別会計	4億4533万3299円	4億4252万1197円
国民健康保険事業勘定特別会計	10億9448万1115円	10億9050万4648円
介護保険特別会計	7億854万1726円	7億270万285円
介護サービス事業特別会計	2億7043万6651円	2億6982万8156円
後期高齢者医療特別会計	1億2272万4905円	1億2207万7708円
病院事業債管理特別会計	2億1387万5935円	2億1387万5935円
水道事業会計	収益的収支※1	1億6450万4947円
	資本的収支※2	0円
		8697万7378円 ※3

※1 収益的収支～事業活動に伴い、発生するすべての収入と支出

※2 資本的収支～将来に備えて行う建設改良や、建設改良に要した借金の返済金などの収入と支出

※3 収支の不足分は、留保資金などでカバー（補てん）

町民1人あたりに 使われたお金

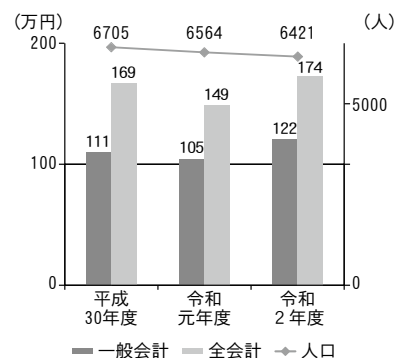
（一般会計）

約122万円

※特別会計等を含めると

約174万円

（注）3月末現在の住民基本台帳
人口6421人で計算したもの



貯金（基金）残高の推移

平成28年度	28億8383万円
平成29年度	30億4003万円
平成30年度	30億2320万円
令和元年度	29億7157万円
令和2年度	30億8267万円

借金（町債）残高の推移（全会計）

平成28年度	167億9592万円
平成29年度	161億7263万円
平成30年度	156億6476万円
令和元年度	147億4534万円
令和2年度	139億5462万円

数字で見た広尾町の財政力

項 目	R 1	R 2
財政力指数 高いほど、毎年必要なお金を自力で調達できる。	0.234	0.238 ▲
経常収支比率 高いほど、自由に使えるお金が少なくなる。 町村では75%以下が適正とされている。	91.2%	86.6% ▲
実質公債費比率 高いほど、収入の多くを借金の返済に使うことになる。 25%を超えると借金を制限される。	14.5%	15.0% ▲
将来負担比率 高いほど、将来の財政が圧迫される可能性が大きい。	55.4%	52.7% ▲

令和2年度決算審査

私たちの税金

一般会計支出（歳出）合計 78億7847万円

議会費	8379万9020円 (1.1%)
総務費	13億7276万4171円 (17.4%)
民生費	16億7629万7788円 (21.3%)
衛生費	8億2403万1587円 (10.5%)
農林水産業費	4億5682万1635円 (5.8%)
商工費	4億3676万7595円 (5.5%)
土木費	8億2481万8224円 (10.5%)
消防費	2億8243万2052円 (3.6%)
教育費	6億2659万4998円 (7.9%)
公債費（借金返済）	12億9414万8615円 (16.4%)

一般会計ほか9会計の令和2年度決算認定について、決算審査特別委員会（山谷照夫委員長）を設置し、9月10日に審査、16日に討論・採決した結果、すべての会計を「認定すべきもの」と決定しました。その後、9月16日の本会議で討論・採決の結果、全会計の決算が認定されました。

【一般会計決算の概要】
収入（歳入）合計額は80億3449万円（前年度比14・0%増）、支出（歳出）合計額は78億7847万円（前年度比14・2%増）となりました。

収

入の43・0%を占める地方交付税は34億5787万円となりました。（前年度比663万円の増）

町

税収入は前年度比0・3%減の9億5713万円となりました。徴収率は93・7%（昨年度93・2%）で、39年度54万円が未納となっています。

貯

金（基金）残高は合計で前年度比3・7%増の30億8267万円となりました。

借

金（町債）残高は合計で139億5462万円となり、前年度比5・4%の減となりました。

※決算の性質別の内訳を11ページに掲載

次のページは
「決算審査特別委員会」

状況をチェック

決算審査 特別委員会

9/7, 10, 16

委員長 山谷照夫

副委員長 北藤利通

令和2年度決算についての質疑内容を抜粋、要約してお知らせします。

一般会計

職員研修

問 各種研修に職員を派遣しているが、新人職員は理事者との意見交流もしているのか。

答 人材育成は理事者も重要と捉えており、職員の資質向上に向け検討する。

子ども農山漁村交流

問 町産食材のPRをどのように行なったのか。また、学校給食の食材として昆布の注文があったとあるが、無料で提供したのか。

答 荒川区の学校給食の食材納入業者にPRした。基本は区内の小学校に提供したが、区外にも輪を広げることが

できればと考える。昆布代金は全額町負担である。

PCB廃棄物

問 過去に取り組んだことがあったのでは。

答 役場庁舎電気室の変圧器劣化改修工事をしたところ、低濃度PCBの廃棄物処理が必要となった。

滞納整理機構

問 機構の引受件数410件のうち帯広市が260件である。分担金は市町村の引受件数や納税実績等で決まるため、見直しする時期ではないか。

答 機構は専門的な知識をもって滞納者にアプローチしており、大きな抑止効果がある。納税担当と連携し、滞納者の納税意欲向上に向けて今後も継続する。

公衆浴場

問 高齢者の利用は微減であるが、大人の利用者が減っている。集客を図る取組は。

答 町外からの観光客や仕事で来る方が減ったことから、大人の利用数も減少した。今後、集客を図る方法を検討する。

熊駆除奨励金

問 4回出動と35頭駆除の内容は。

答 猟友会メンバーに出動要請した。また、農林業被害や市街地付近に出没した際は、わなを設置し捕獲や駆除をしている。駆除の取り扱いは調査判断基準による。

問 平均乗車密度が5.0人を下回ってから、地元負担が増えている。昨年は新型コロナウイルスの影響で乗車総数が減ったと思うが、南十勝を挙げて負担を緩和するよう国と道に要望すべきでは。

広域連携映画脚本制作

問 広域観光の推進による映画「北の流水（仮称）」の制作委員会の設立時期と事業費は。また、寄附金や協賛金の資金集めの進捗状況は。

答 制作委員会の立ち上げ時期は未定であるが、出資企業が増えた段階で幹事会社が決定する予定である。資金集めは3億5000万円を予定しており、そのうち2億

円を企業に出資・協賛してもらおう意向である。4町の取組では、前年度まで125件を企業訪問し、4企業から640万円の出資・協賛があった。今後も企業訪問を継続し、協賛金を増やしていきたい。

十勝バス「広尾線」

問 平均乗車密度が5.0人を下回ってから、地元負担が増えている。昨年は新型コロナウイルスの影響で乗車総数が減ったと思うが、南十勝を挙げて負担を緩和するよう国と道に要望すべきでは。

答 平均乗車密度が5.0人を下回ってから、地元負担が増えている。昨年は新型コロナウイルスの影響で乗車総数が減ったと思うが、南十勝を挙げて負担を緩和するよう国と道に要望すべきでは。

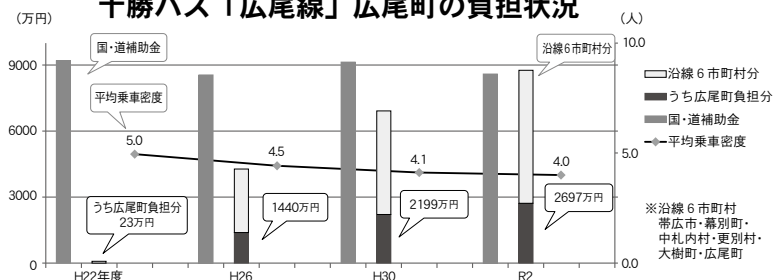
問 平均乗車密度が5.0人を下回ってから、地元負担が増えている。昨年は新型コロナウイルスの影響で乗車総数が減ったと思うが、南十勝を挙げて負担を緩和するよう国と道に要望すべきでは。

答 平均乗車密度が5.0人を下回ってから、地元負担が増えている。昨年は新型コロナウイルスの影響で乗車総数が減ったと思うが、南十勝を挙げて負担を緩和するよう国と道に要望すべきでは。



地元負担を軽減するためには

十勝バス「広尾線」広尾町の負担状況



予算の執行



ツリー点灯式

問 インターネット動画配信の内容は。

答 サンタランドツリー点灯式のプロモーション委託として、事前告知動画の作成や点灯式の中継を生配信した。

問 本編の再生回数は約3100回、告知の再生回数は1600回であるが、55万円の費用対効果はあったのか。

答 従来の点灯式よりも経費は安価であった。動画編集やPRなど職員で可能なものは自ら作成し配信したい。

ふるさと納税

問 寄附金の使い道に、予算項目には無かった映画「北の流水（仮称）」の製作の実現等が決算にはある。予算と決算の整合性を図るため、明確にするべきでは。

答 過日行われた議員協議会において、ふるさと納税により4町で映画協力を募ることになったと説明した。使途内容と歳入名目が必ずしも一致しないが、整合性がとれるようにしたい。

問 子ども農山漁村交流の個人版寄附金を、本町のまちづくりや町民のために幅広く使えるように、使途内容を拡大できないか。

答 役場内部で効果的な事業を検討する。

問 寄附額に対する返礼品の割合は。

答 返礼品は3割、必要とする経費は5割を指している。

討論

一般会計歳入歳出決算

反対 使途内容見直しを
旗手恵子委員

ふるさと納税の使途は、広尾町民のために使用目的を幅広く活用できるような見直しをすべき。また、政治家記念館は、地方公共団体が運営すべきものでなく、早急に運営形態を見直すべきと考え、本決算認定に反対する。

反対 不急事業一時停止
小田雅二委員

ホームステイ事業は新型コロナウイルスの影響で中止となったが、不急の事業は一時停止が休止すべきと考え。また、「広尾の子どもは広尾町で守り、そして助ける」と町民のために考えるべきであり、本決算認定に反対する。

賛成 コロナ禍
創意工夫
北藤利通委員

新型コロナウイルスの影響で各事業が中止、延期等となる中、様々な工夫を凝らし、各事務事業の遂行に尽力されている。また、第6次まちづくり推進総合計画を策定し、まちづくりの方向性を定めた内容であり、本決算認定に賛成する。

賛成 町産品を
アピール
浜野 隆委員

子ども農山漁村交流事業は、これまでの絆とつながりを生かし、広尾町産食材提供事業で町産品をアピールし産業振興に取り組んだ。また、財政運営においても健全化への努力が認められるものであり、本決算認定に賛成する。

国民健康保険事業 勘定特別会計決算

反対 負担増は
回避すべき
前崎 茂委員

国民健康保険税の賦課限度額は引き上げられ、また、新型コロナウイルス感染拡大により、零細工商业者は休業、自粛など収益が減少する経済環境の下、被保険者の負担増は回避すべきと考え、本決算認定に反対する。

賛成 軽減拡大
適正会計
北藤利通委員

健全で安定した運営を目指し、町民医療の確保と健康増進に努めている。また、所得の低い世帯にも配慮した保険税率となっており、軽減も拡大され適正な会計運営がなされていることから、本決算認定に賛成する。

議員の「なり手不足」解消へ

特別委員会を設置し、調査スタート

令和3年
第3回
定例会
9/7～16

議員の 定数 報酬

議会の活性化を図り、 身近な議会の構築へ



広尾町でも平成16年、28年、令和2年の町議選は無投票に

地方議会の議員のなり手不足は、全国的にも深刻な問題となっています。町村議会議員の議員報酬等のあり方検討委員会では、「住民に開かれた議会」を目指し、議会活性化のための幅広い取組が必要とされています。

また、議員の役割と活動に重点をおいた報酬のあり方は、議会の活性化を図り、住民に身近な議会を構築し、魅力ある議会にすることで、「なり手不足」解消への展望が開けるのではと報告されています。

十勝管内各町村の議員定数・議員報酬

(令和3年9月末現在)

町村名	人口 (R3年9月30日)	議員 定数	人口÷ 議員定数	議員報酬 (単位: 円)					
				議 長	順位	副議長	順位	議 員	順位
音更町	43,555人	20人	2,177人	397,000	1	321,000	1	281,000	1
幕別町	26,293人	19人	1,383人	323,000	2	258,000	2	212,000	2
芽室町	18,193人	16人	1,137人	306,000	5	244,000	5	204,000	4
清水町	9,197人	13人	707人	275,000	15	219,000	14	183,000	14
本別町	6,577人	12人	548人	292,000	11	230,000	11	185,000	9
足寄町	6,569人	13人	505人	300,000	7	235,000	7	188,000	7
広尾町	6,393人	13人	491人	294,000	10	235,000	7	185,000	9
池田町	6,316人	12人	526人	296,000	8	234,000	9	185,000	9
士幌町	5,975人	12人	497人	310,000	4	245,000	4	195,000	5
新得町	5,717人	12人	476人	296,000	8	233,000	10	188,000	7
大樹町	5,437人	12人	453人	286,000	12	227,000	12	185,000	9
鹿追町	5,255人	11人	477人	300,200 [316,000]	6	236,550 [249,000]	6	194,750 [205,000]	6
上士幌町	4,954人	11人	450人	261,000	17	210,000	17	165,000	17
浦幌町	4,454人	11人	404人	318,000	3	254,000	3	212,000	2
中札内村	3,934人	8人	491人	267,000	16	211,000	16	169,000	16
更別村	3,167人	8人	395人	258,000	18	203,000	18	162,000	18
豊頃町	3,091人	9人	343人	281,000	14	225,000	13	185,000	9
陸別町	2,296人	8人	287人	286,000	12	217,000	15	175,000	15

※鹿追町は新型コロナウイルス感染関連対策の財源に充てるため議員報酬を5%削減しています
【 】は減額前の報酬

※人口は北海道ホームページより

本町では平成29年から令和元年に、まちの現状に合った議員定数、議員報酬を議論し「現状維持」と決定しましたが、昨年4月に行われた町議会議員選挙(定数13)は、立候補者が定数を超えなかったため、2期連続全員が無投票当選となりました。

議員のなり手不足は本町においても喫緊の課題であり、議論していかねばならない問題であることから、第3回定例会最終日(9月16日)に議長を除く全議員で構成する「議員定数等に関する調査特別委員会(浜頭勝委員長、山谷照夫副委

員長)を設置しました。今後、適正な議員定数・議員報酬について調査していきます。
なお、今定例会で議会への欠席事由に、出産・育児・介護などを追加する規則改正を行い、男女ともに議員活動がしやすい環境を整備しました。

令和3年度 補正予算の内訳

一般会計⑦	76億2974万円	1億8200万円	増
港湾管理特別会計①	1億518万円	138万円	増
簡易水道事業特別会計③	1億1137万円	73万円	増
下水道事業特別会計②	4億4637万円	358万円	増
国保事業勘定特別会計②	9億8479万円	32万円	増
介護保険特別会計②	7億2761万円	830万円	増
介護サービス事業特別会計②	2億7814万円	283万円	増
後期高齢者医療特別会計①	1億2470万円	※増減なし	
病院事業債管理特別会計①	5512万円	10万円	減
水道事業会計②	収益的支出 1億7579万円	4万円	増

※会計名の後の丸数字は補正回数

(1万円未満切り捨て)

補正予算

高齢者外出支援の実証

241万円

運転免許証を所持し

ない75歳以上の高齢者に、

タクシー運賃及びバス運

賃の一部を試験的に助成

(1枚100円の助成券

を1か月15枚)、利用状況

等を調査・検証し、新たな

外出支援を検討します。

問

土幌町は実証実験を2年間実施した。本

町は期間が短い。

答

令和4年度の早期に本格実施ができるよう、実証実験を2か月間とした。

プレミアム付商品券

3200万円

売上が減少する商工業

者を支援するため、広尾

町商工会が発行するプ

レミアム付商品券(1枚

500円、1組15枚(うち

2枚は飲食店利用限定)

を5000円で販売に

対し、プレミアム率50%

(一般30%・飲食20%)を

夜の街

プレミアム付商品券

200万円

売上が減少するバーな

ど商工業者を支援するた

め、広尾町商工会が発行

する夜の街プレミアム付

商品券(1枚1000円、

1組6枚を3000円で

販売)に対し、プレミアム

率100%を補助します。

使用期間は11月1日から

翌年1月31日まで。

中小企業等

キャッシュレス化

1223万円

「新しい生活様式」や

「新北海道スタイル」を実

践・推進するため新型コ

ロナウイルス感染症防

止対策の非接触決済

(キャッシュレス化)を導

入し、町内の消費喚起等

を図ります。町内対象店

舗(商工会が認める商工

業者)で買物や飲食等を

キャッシュレス決済のP

ayPayやd払いで支

払うことで、決済金額の

30%分のポイントが付与

されます(ただし、付与

上限あり)。期間は11月1

日から12月31日まで。

教育長の菅原教育長の再任に同意

同意

10月8日に任期満了と

なる菅原康博教育長を再

任することに同意しまし

た。

※任期は10月9日から3

年間。

その他決まったこと

◎教育委員の任命、固定資産評価審査委員の選任に「同意」しました。

教育委員

大森敬子さん(再任)

任期：令和3年12月1日から4年間

固定資産評価審査委員

齊藤政明さん(再任)

任期：令和3年10月25日から3年間

大林勝則さん(再任)

任期：令和3年11月1日から3年間

◎人権擁護委員候補者の推薦を「適任」としました。

坂本和子さん(再任)

◎新たな過疎地域振興対策に係る過疎地域の持続的発展の支援に関する法律が定められ、第6次まちづくり推進総合計画などの事業実施に伴い「過疎地域持続的発展市町村計画」を策定しました。なお、新過疎法の制定による名称変更に伴い、議会基本条例を一部改正しました。また、固定資産税の課税の特例についても全部改正しました。

◎事業費の変更に伴い、「辺地に係る公共的施設の総合整備計画」を変更しました。



次のページは
「意見書・陳情・行政報告」

意見書3件を可決

国等へ提出

※内容は要約しています。

① 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 浜頭 勝議員

北海道の森林が持つ多面的機能を発揮させ、「植えて育てて、伐って使って、また植える」といった森林資源の循環利用を進めることは、雇用・所得の拡大による地方創生にも大きく貢献する。

また、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする国の目標達成に向けて、本町と道が連携し、積極的な森林吸収源対策を推進することが必要である。

本道の森林を将来の世代に引き継いでいくため、活力ある森林づくりや防災・減災対策をさらに進め、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化が実現できるように、次のことを強く要望する。

- ① 森林整備事業予算・治山事業予算の十分な確保。
- ② ICT等の活用による林業イノベーションの推進、生産・流通体制の強化、道産木材の販路拡大、森林づくりを担う人材の育成に必要な支援の充実・強化。



今年は広尾町産材を利用した「木育フェスタ」を開催

② コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

提出者 浜頭 勝議員

新型コロナウイルスの感染拡大は、変異株の猛威も加わり、各方面に甚大な影響を及ぼしている。地方財政は巨額の財源不足が避けられない状況であるが、地方自治体は感染症対策をはじめ、雇用対策や社会保障等への対応に迫られている。

よって、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、次のことを確実に実現されるよう強く要望する。

- ① 令和4年度以降3年間に於ける地方一般財源総額の十分な確保。
- ② 固定資産税制度の根幹を揺るがす見直しは、断じて行わないこと。また、生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策での特例措置は、期限の到来をもって確実に終了すること。
- ③ 税制改正による、土地に係る固定資産税の課税

標準額を令和2年度と同額とする措置は、令和3年度限りとする。

④ 税制改正による、自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減延長について、更なる延長は断じて行わないこと。

⑤ 炭素に係る税を創設・拡充する場合は、一部を地方に税源配分すること。

③ 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

提出者 浜頭 勝議員

北海道は、新型コロナウイルス感染症の影響により幅広い分野で大きな打撃を受けており、道路交通では、自然災害に伴う交通障害など様々な課題を抱えている。今後は、ポストコロナを見据えた取組や安定的な物流・人流の確保・活性化に資する広域道路ネットワークの早期形成・機能向上が必要不可欠である。

よって、社会資本整備等の充実・強化に向けて、次のとおり特段の措置を講ずるよう強く要望する。

① 公共事業関係予算の所要額確保、地域の実態に鑑みた予算の重点配分。

② 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化計画」の推進に必要な予算・財源の確保。

③ 橋梁、トンネル等の戦略的な維持管理・更新事業を行うための技術的支援の充実。

④ 高規格幹線道路の着手済み区間の早期開通と未着手区間の早期着手及び暫定2車線区間の4車線化。また、国道とのダブルネットワークの構築によるリダンダンシーの確保や耐災害性の強化、重要物流道路のさらなる指定。

提出先

衆議院議長・参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣①②③、経済産業大臣①②③、国土交通大臣①③、文部科学大臣、農林水産大臣、環境大臣、復興大臣①、内閣官房長官、経済再生担当大臣②③、国土強靱化担当大臣③

陳情審査報告

6月定例会において総務常任委員会に付託され、継続審査としていた陳情は、9月7日の本会議で審議した結果、「趣旨採択」となりました。

件名	申請者	要旨	委員会審査	本会議採決
広尾町国民健康保険病院の人工透析医療施設の開設に関する陳情書	広尾町人工透析患者代表 柴崎 忠雄、松原 和行	患者の高齢化が進む中、大樹町までの通院は厳しいため、本町で治療が受けられるよう、人工透析医療施設の開設を求める	※ 趣旨採択 (総務常任委員会)	趣旨採択



※趣旨採択

願意については十分理解できるが、実現性の面で確信が持てないといった場合に、「趣旨には賛成である」という意味の議決のこと



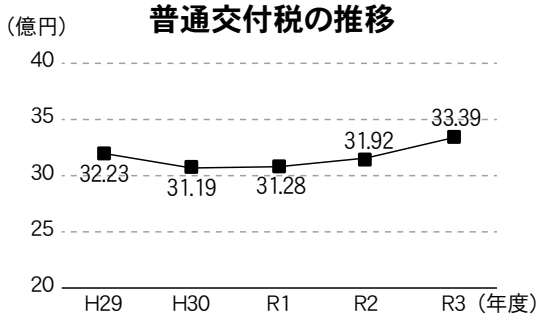
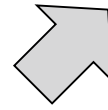
村瀬町長からの

行政報告

※内容は要約しています。

普通交付税

前年度より
1.4億円増加



新型コロナウイルス交付金

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の交付限度額は、前年度からの繰越分1億円を加え、1億115万5000円が交付され、令和3年度事業に活用可能となった。なお、新たに7事業を実施計画に追加しており、協議の上、地域経済や住民生活への支援を進めていく。

令和3年度の普通交付税決定額は、33億3917万円となり、前年度と比べて1億4706万1000円、4・6%の増となった。また、臨時財政対策債の発行可能額は、1億6375万5000円であり、25%の増となった。

新型コロナウイルスワクチン接種状況

8月31日現在、接種対象者6023人のうち5100人が1回目を接種し、接種率は84・7%。2回目の接種完了者は4885人で81・1%となり、10月中旬を目途に希望する全ての町民への接種を完了予定である。

第5次行政改革大綱(後期)の策定

将来にわたり豊かで安心して暮らせるまちづくりを実現するために、前期に引き続き、令和3年度から令和6年度までを後期の計画期間とした大綱を策定した。(関連記事を20、21ページに掲載)

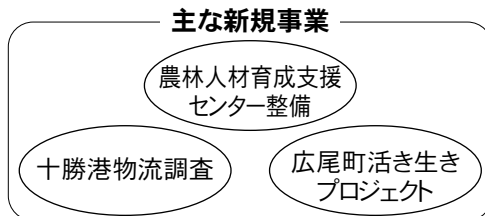
第6次まちづくり計画の見直し

第6次まちづくり計画「実施計画」(令和3年度(令和12年度))は、財政

見直しする事業

新規追加
5事業
1億3070万円 ↗

内容変更
10事業
9502万8000円 ↘



事業費総額
402億7118万2000円
3567万2000円 増

状況や社会経済情勢等の変化に対応するため、事業の追加や修正など毎年見直しを行っている。今年行った見直しは次のとおり。

国保病院の診療体制

長島弘内科医師が9月16日に、山口聖隆外科医師が10月1日に着任する。また、計良基治病院長が10月31日をもって退任する。後任は山口聖隆氏。

ひろお毛がにまつり

12月12日に開催を予定しているが、新型コロナウイルスのまん延により開催が困難となった場合は、昨年同様オンラインでの毛がに販売やプレゼンテーションなどを検討している。

敬老会の中止

9月15日に開催を予定していたが、取りまとめの結果、出席者が少なく開催が見込めないことから中止とした。

火災の発生

8月24日に字フンベで敷地内の倉庫1棟が全焼、隣接する住宅外壁等の一部を焼損した建物火災が

発生。消防職員、団員合わせて28名、車両7台が出動した。出火原因や損害額は調査中である。

広尾サンタランドツリー点灯式

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため昨年同様、従来どおりの点灯式を取り止め、自宅などでも楽しめるようインターネットを利用した動画配信を計画しており、イルミネーション点灯中継のほか、保育園児の合唱や町内の風景などの内容を検討している。



新たにサンタランドを彩るウッドイルミネーション

次のページは
「議案の賛否・議員の出欠・決算性質別」

令和3年第3回定例会 議案審議結果

●賛否のあった議案（議案名は一部省略しています）賛：賛成 否：反対 欠：欠席

議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議決結果
	松田健司	浜野隆	萬亀山ちず子	前崎茂	北藤利通	志村國昭	星加廣保	山谷昭夫	渡辺富久馬	小田雅二	旗手恵子	浜頭勝	堀田成郎	
令和2年度一般会計決算認定	賛	賛	賛	否	賛	賛	欠	賛	賛	否	否	賛	－	認定(8-3)
令和2年度国保事業勘定特別会計決算認定	賛	賛	賛	否	賛	賛	欠	賛	賛	否	否	賛	－	認定(8-3)

※全会一致した議案の掲載は省略しています。※堀田議員は議長のため、採決には加わりません。

議員の会議等出欠状況をお知らせします

(令和3年6月定例会終了後～令和3年9月定例会まで)

(1) 定例会・臨時会○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退

			議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
			議 員 名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	山谷	渡辺	小田	旗手	浜頭	堀田
開催日	開催会議名・主な内容															
7/1	第4回臨時会（補正予算など）			○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
7/27	第5回臨時会（補正予算など）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/7	第3回定例会（補正予算など）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/8	第3回定例会（一般質問）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/16	第3回定例会（決算認定、意見書など）			○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
開催日数計		5日	出席日数計	5	5	5	5	5	5	4	5	4	5	5	5	5

(2) 委員会○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 ー：所属外

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議 員 名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	山谷	渡辺	小田	旗手	浜頭	堀田
開催日	開催会議名・主な内容														
7 / 1	第 4 回議会運営委員会		－	－	－	○	○	○	○	○	×	－	－	○	○
7 / 26	第 3 回総務常任委員会		○	－	－	－	○	○	○	－	－	○	○	－	○
7 / 30	第 3 回産業常任委員会		－	○	○	○	－	－	－	○	○	－	－	○	○
8 / 4	議会広報編集会議		○	○	○	－	－	－	－	－	－	○	○	○	－
8 / 17	第 3 回議会広報特別委員会		○	○	○	－	－	－	－	－	－	○	○	○	○
9 / 1	第 5 回議会運営委員会		－	－	－	○	○	○	○	○	○	－	－	○	○
9 / 7	決算審査特別委員会（正副委員長互選）		○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	－
9 / 10	決算審査特別委員会		○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
9 / 16	決算審査特別委員会		○	○	○	○	○	－	×	○	○	○	○	○	○
9 / 16	議員定数等調査特別委員会（正副委員長互選）		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	－
9 / 16	議会広報編集会議		○	○	○	－	－	－	－	－	－	○	○	○	－

※正副議長の委員会への出席
堀田議員は議長のため、各委員会に所属していませんが、いずれの委員会にも随時出席し、発言することができるため、出席した委員会は「○」と表しています。
また、副議長の浜頭議員は、議会運営委員会に所属していませんが、出席した場合は「○」と表しています。
※議員定数等調査特別委員会は議長、決算審査特別委員会は議長、議選監査委員を除く議員で構成されています。

(3) 議員協議会・研修・その他○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 ー：対象外

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議 員 名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	山谷	渡辺	小田	旗手	浜頭	堀田
開催日	開催会議名・主な内容														
7 / 1	第 6 回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
7 / 27	第 7 回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8 / 17	第 8 回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9 / 1	第 9 回議員協議会		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
9 / 16	第10回議員協議会		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

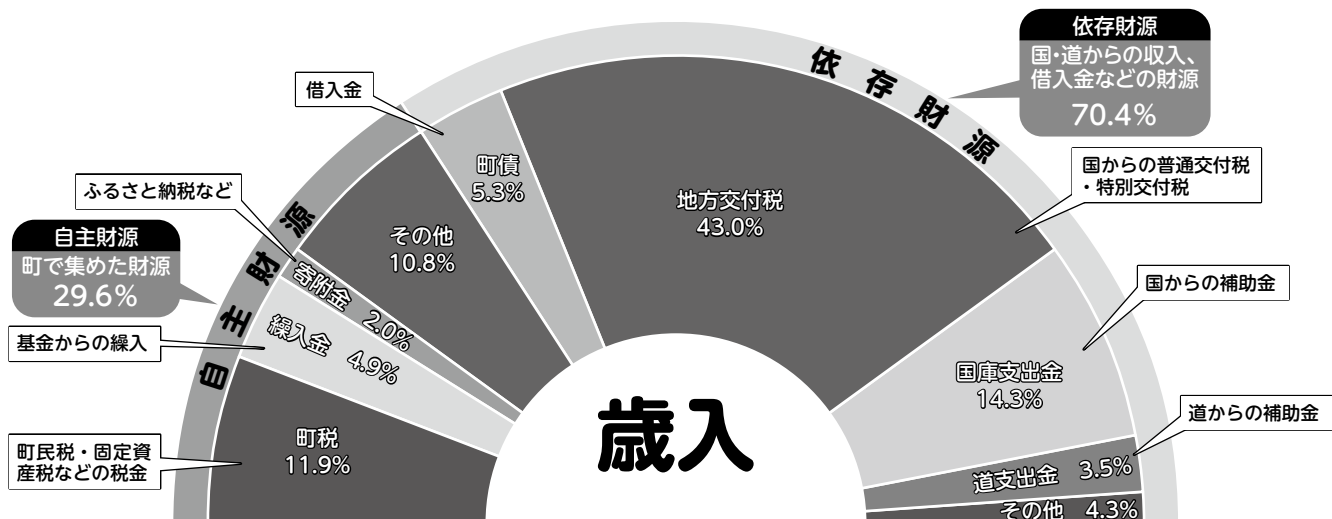
決算 性質別

財政の健全性・弾力性は 厳しい財政状況

令和2年度 決算の内訳

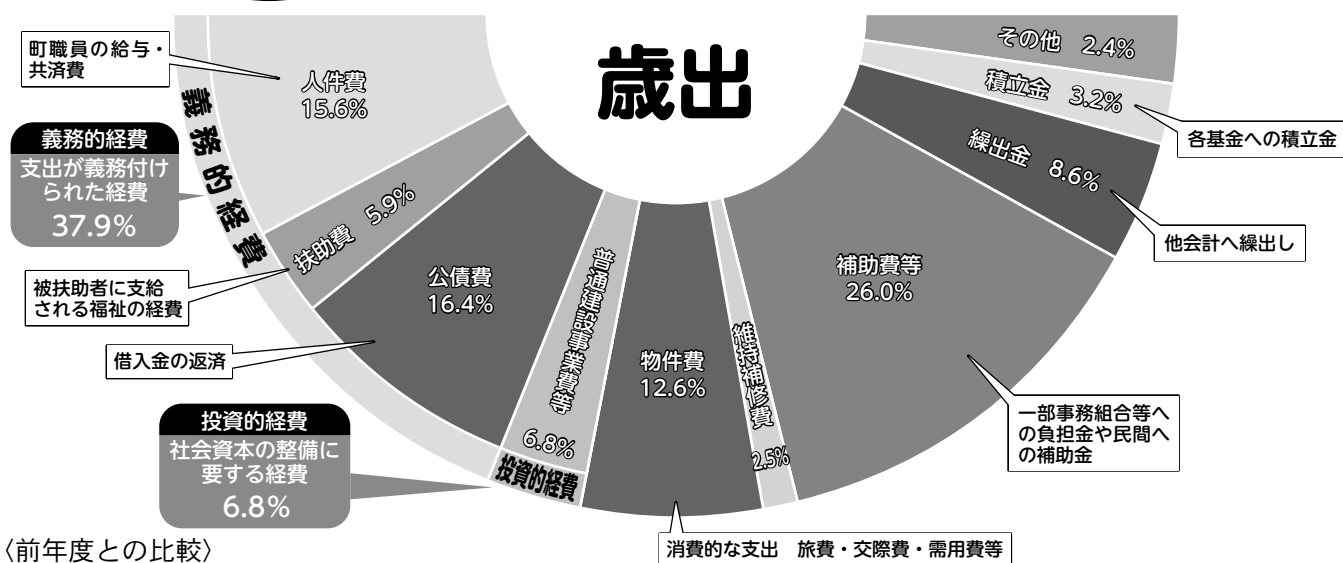
〈前年度との比較〉

	令和2年度	令和元年度	増減額
地方交付税	34億5787万円	33億9124万円	6663万円
町債(借入金)	4億2430万円	5億1904万円	▲9474万円



一般 会計

80億3449万円
78億7847万円



〈前年度との比較〉

	令和2年度	令和元年度	増減額
人件費	12億2579万円	10億6948万円	1億5631万円
補助費等	20億4759万円	12億9184万円	7億5575万円

〈臨時職員から会計年度任用職員に制度改正 など〉
〈新型コロナウイルス感染症対策に伴う給付金事業 など〉



ズバリ 町政を問う

一般質問

一般質問とは・・・

議員が定例議会で町長などに執行機関の考え方について、報告や説明を求めたり、疑問をたずねることです。

広尾町議会では1回目が一括質問方式、2回目以降は一問一答方式となっています。

9月定例会では5人の議員が一般質問を行いました。

※議会だよりでは、内容を要約して掲載しています。



各議員の一般質問は
録画中継にて
ご覧いただけます。



志村議員・旗手議員・前崎議員
の一般質問はこちらから

松田議員・小田議員の
一般質問はこちらから



●一般質問 項目一覧

志村國昭議員	展望台の復活を決め手に！	P12
	学校指定カバン、一石三鳥の効果	P13
旗手恵子議員	新型コロナ対策の現状と今後について	P14
	介護保険の「補足給付」変更による影響は	
前崎 茂議員	広尾町で安心して人工透析治療を	

前崎 茂議員	町営合葬墓の建設を	P15
松田健司議員	降雨災害に対する取組と課題は	
小田雅二議員	ワクチン接種時の副反応の調査は	P16
	役場職員の他町村との定期的交流を	

～観光拠点づくり～ 展望台の復活を決め手に！

町長 早期にプロジェクトを立ち上げる



しむら 志村國昭 議員



観光資源を生かすために

質問 大丸山森林公園は、サンタランドのシンボルゾーンと位置付けられているが、頂上に至る道路の通行止めはゾーンとしてマイナスイメージである。改修は2年間で見込まれており、通行可能となれば、南十勝唯一の展望台から四季折々の眺望を再び提供できる。また、日高山脈襟裳国定公園は国立公園化への機運が高まり、実現すれば交流人口の増加や関係する産業振興に弾みがつく。展望台を復活再開し、既存施設と一体化した観光拠点づくりなど、サンタランドとの関連戦略に早期に取り組むべきでは。

答弁 村瀬町長 展望台に至る大丸山線林道は、経年劣化により、危険が伴うため通行止めとなっている。今後は利用者の安全を十分に確保しながら、関係団体と協議を行い、ミニツアーなど展望台を生かした取組を検討する。

また、日高山脈襟裳国定公園の国立公園化との関連については、広尾町の特色であるサンタランドと黄金道路を観光資源とした周遊コースの整備など、他町村と連携しながら魅力あふれる情報発信に取り組み、第6次まちづくり計画の魅力向上プロジェクトの中で、大丸山全体を含めた観光資源の位置付けを議論する考えであり、早期にプロジェクトを立ち上げ、各団体と連携しながら進めていきたい。

学校指定カバン、一石三鳥の効果

教育長 実態を検証の上、各学校と協議する



小樽市で使用されている通学カバン

質問

文部科学省は、「重い通学カバンが健康に影響を与えている」と全国の教育委員会に負担軽減を求めた。

教科書が4キログラム、ランドセルを含め6キログラムは重い。加えて高価なランドセルを6年間使用する児童はほとんどいなく、買ってもらえない児童もいると報道された。古くから軽量で安価な指定カバンを採用している小樽市、旭川市、関西地方の小学校では「児童の通学負担と親の経済負担軽減、また同じカバンで通学することが格差解消に繋がる」と評価が高い。本町も採用の検討を。

答弁

菅原教育長

本町では、小学生のほぼ全員が現在もランドセルで通学しているが、平成30年には、文部科学省より「児童生徒の携行品に係る配慮について」という文書が発出されており、町内各学校でも、教科書が入ったランドセルの重さを計測した結果、令和元年度から教材を学校に置いて帰る「置き勉」を実施し、児童の負担が軽減されるよう取組を進めている。

ランドセルの重さは1・1キログラムから1・3キログラムほどあり、学校指定カバンに比べると倍近くの重さがある。また、教科書がB版からA版に変わったことやタブレット端末の配布により持ち帰る量も増えるため、実態を再度検証した上で各学校と協議し、検討していきたい。



はたて 旗手恵子 議員

質問

新型コロナウイルスのワクチン

接種は9月中旬に完了とのことだったが、接種完了の見通しはどのようになっているか。

いま、全国各地で感染が拡大しており、呼吸困難でも自宅療養を強いられる事例が急増している。①ワクチン接種、②PCR検査、③十分な補償といった対策が必要では。また、PCR検査は高齢者施設、医療機関、保育所、学校など頻回・定期的な検査が必要では。加えて、中小企業や個人事業主への支援も必要だと考える。十分な補償を国にも強く求めるべきではないか。

新型コロナ対策の現状と今後について

町長

10月中旬に完了

支援体制も検討

答弁

村瀬町長

ワクチンの接種状況は、9月3日現在で、対象者6023人に対し1回目は84・9%、2回目は83・4%の接種率である。9月中に接種を完了予定であったが、感染拡大により若年層の接種希望者が増えたため、年度内に12歳になる方や特別な事情がある方を除き、10月中旬を目途に希望する全ての町民への接種を完了する予定である。各種支援では、介護施設や診療所に対し、施設内の消毒に要する費用の一部を助成する町独自の制度を設け、町内の福祉医療施設に対しても30万円を限度に支援金を交付した。また、プレミアム付商品券の発行や中小企業緊急支援事業給付金などの取組も進めてきた。今後も、商工会と十分協議を重ね、支援策を検討していきたい。



商工業者を支援するために

介護保険の「補足給付」

変更による影響は

町長

負担は増えるが、

限度額超過分は軽減する

質問

2021年8月
から、国の制度

答弁

村瀬町長

改定に伴い補足給付が改悪され、施設サービスを利用した場合の「食費」や「居住費」の補助が縮小され、自己負担が値上がりした。改定は特養・老健とも対象になるが、特にショートステイの食事代負担の増加が大きな影響を受ける。

非課税世帯の中でも、収入が120万円を超える世帯の補助カット幅が大きく、「在宅生活」を支える介護保険の負担が、費用負担が大きく使えない状況になるのではないかと、国は、預貯金だけでなく不動産等の資産も要件に入れようとしている。本町の介護保険利用者にとどのような影響が出るのか。

制度改正により、介護保険施設の入所者やショートステイの利用者が負担する食費の限度額が見直され、本町でも8月より負担限度額の引き上げが行った。

今回の改正は、在宅の方との食費負担の公平性や負担能力を考慮したものであり、特にショートステイの利用者への負担が大きくなるが、負担限度額を超える分は、これまでどおり特定入所者介護サービス費による補足給付で負担軽減する。

また、平成27年8月からは本人と配偶者の預貯金等の資産

【改正後】食費（日額）の負担限度額（R3.8～）

年金収入等	施設入所者	ショートステイ利用者
80万円以下（第2段階）	390円	600円
80万円超120万円以下（第3段階①）	650円	1,000円
120万円超（第3段階②）	1,360円	1,300円

合計額が支給要件に加えられたが、今回の改正では預貯金等の内容に変更がなく不動産も含まれていない。今後も国の動向を注視しながら対応していきたい。

広尾町で安心して人工透析治療を

町長

どのような形でできるか検討したい



前崎 茂 議員

質問

本町の人工透析患者数は増加傾向にあり、25人前後で推移している。現在は大樹町のクリニックに通院しているが、通院時間や待ち時間等の調整で、体力的・精神的に非常に疲れるとのことである。

答弁

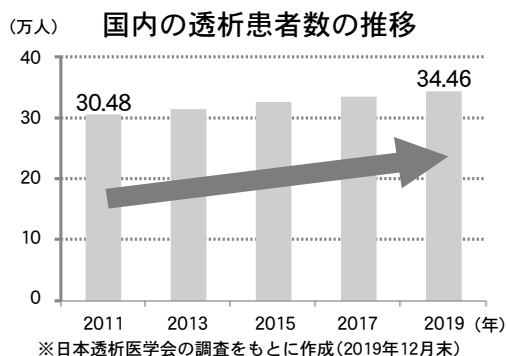
村瀬町長

本町における患者数の現状や心身的・経済的負担を考慮すると、本町での透析治療の可能性について検討が必要と考えるが、専門医や医療スタッフの人材確保、建物の増改築、関係町村・機関との協議が課題となっている。また、南十勝では大樹町において透析治療の拠点病院と位置付けており、経過を踏まえると関係町村等の合意形成も必要である。

本年4月には、議会議長宛てに、人工透析患者の連署による「人工透析医療施設の開設について」の陳情書の提出があり、趣旨採択となった。

患者の切望に寄り添うためにも、広尾町で安心して人工透析の治療ができるよう計画の具体化を図るべきでは。

まずは、透析にならないために特定健診を受けるというなど、患者の減少に向けた解決策を第一に取り組む。また、透析を受ける方々が身近な所での治療を切望していることを十分に受け止め、住民が広尾町で安心して医療を受けられる体制を、どのような形でできるか検討を進めていきたい。



※補足給付

介護保険施設入居者の食費・居住費に関する負担軽減制度
加入者の収入は段階で区分されており、第1～第3段階の住民税非課税世帯が支給対象となる

町営合葬墓の建設を

町長 時代の変化や多様なニーズを見極め、判断する



考え方が多様化する中、お墓の在り方とは

本町の実態を踏まえながら、時代の変化と墓地に対する多様なニーズを見極め、判断していきたい。

質問 近年の核家族化や少子高齢化、価値観の多様化など、祭祀の在り方も時代の変遷とともに変化してきており、「お墓の継承者がいない」、「お墓のことで子どもに負担をかけたくない」、「お墓を建設する費用が工面できない」など公営墓地の建設を求める声が上がっている。

答弁 村瀬町長 お墓に対する考え方が多種多様化する中、やむを得ない事情によりお墓の承継や維持管理が困難な方、経済的にお墓の建立が難しい方など、合葬墓を検討する方が増えていると言われている。

質問 気候の変動によるとされる大雨や集中豪雨は年々多発する傾向にあるが、降雨での水害に対する現在の取組と今後の課題について伺う。



まつだ 松田健司 議員

答弁 村瀬町長 住居等の冠水対策として、豊似市街は大規模な排水明渠が整備され、広尾市街では雑木の伐採や河道の整備等を行っている。また、冠水のおそれがある住居や店舗には土のうを配布し、一定数を備蓄している。

また、本町では津波を伴う災害を想定し、食料等を備蓄している。3日分の備蓄を町民にお願いしているが、豊似・野塚地区では断層等の大きな災害も予想されるため、商店との災害協定も今後必要と考えている。



命を守るため、最低3日分の備えを

降雨災害に対する
取組と課題は

町長 災害対策を
しっかりと行う



おだ 小田雅二 議員

ワクチン接種時の 副反応の調査は

町長 調査や記録は行わない

質問 新型コロナウイルス
チン接種後の副

反応については、あらかじめ国や自治体から町民に対し、様々な症状が起き得ることを知らせている。

副反応がほとんどない人もいれば、因果関係が不明であったが、最悪の場合では死に至った人も多く、厚生労働省のデータでは既に1000人を超え、実際にはその何倍もあると言われている。

今後3回目の接種が検討されている中で、町民が接種後に生じた副反応についての調査や記録を取り、検討していく事が町民の健康や生命を守るための使命だと思うが。

答弁 村瀬町長

安心して接種できるよう、これまで町民へ接種後の副反応に関する情報提供を行ってきた。

今年2月には、医療従事者へ先行接種が行われ、国は健康状況調査をもとにしたデータを公表した。これは現れた症状

は、健康被害救済制度により個別に対応するが、現在まで確認はされていない。発熱等の副反応はほとんどが接種後の翌日、長くて数日で回復するため、今後町として調査や記録を行う予定はない。

の男女・年代別の発症率を示したもので、本町ではこのデータをウェブサイトで公表したほか、接種券の発送時にチラシを同封して周知し、接種会場でも症状や対処方法の情報を提供した。



前もって副反応への対策を

おだ 小田雅二 議員

役場職員その他町村との定期的交流を

町長 リモート会議も活用し、開催していく

質問 職員研修は、新人・中堅・管理

職などレベルごと、あるいは地域レベルのものなど様々な種類があり、計画的に実施され、効果が上がっていると思う。

各町村から担当者が集まる研修や連絡会等も必要であり重要だと思うが、より自由で自主的な形態かつ民間的な発想で、異業種交流のような形のレベルまで広げる必要があると考えるが。

答弁 村瀬町長

現在、各担当課長等における担当者会議は定期的に開催されており、関係町村で課題を提案し、各町村の対応を参考としながら課題解決の方策を探索する活動を行っている。

全ての課でそれぞれが連携した会議は持っていないが、多くは課題が生じる度に担当者が集まり、連絡協議を行っている。

課題解決のために先進事例を学ぶことは大切だが、コロナ禍でなかなか開催できない状況もあるため、リモート会

議等も活用しながら、引き続き他町村との横のつながりを持ち、職員の自己研鑽や職業意識の向上に向けて会議等を開催していく。



リモートで研修に参加する職員

第6回臨時会

10/5

中小企業緊急経営支援

2400万円

令和3年第6回臨時会が10月5日に開かれ、補正予算の議案1件を審議。原案のとおり可決し、閉会しました。

中小企業緊急経営支援

2400万円

新型コロナウイルス感染症の影響により売り上げが減少した商工業者に対し、事業の持続と雇用の確保を図るため、給付金を支給します。

給付対象事業者は、決められた条件を満たす者等で、給付額は売上減少額の30万円が上限となります。ただし、日本標準産業で定められた「飲食店」は、①売上減少割合が20%以上40%未満は上限額が30万円、②売上減少割合が40%以上は上限額

イベント中止緊急支援

170万円

新型コロナウイルスの影響によるイベント中止に伴い、出店の機会を失った町内事業者に対し、事業の持続等を図るため、給付金を支給します。

給付対象事業者は、決められた条件を満たす者等で、給付額はイベントごとに1事業者10万円となり、申請期限は11月10日までとなります。

養育支援訪問の拡充

25万円

子どもを産み育てやすい体制の整備を図るため、

養育に関する相談・指導・助言などの支援を行います。

利用対象者は、18歳未満の児童がいる家庭のうち、他の子育て支援サービスの提供のみでは支援することが困難な家庭で、妊娠期からの継続的な支援を特に必要とする家庭等となります。

事業内容は、安定した妊娠・出産・育児を迎えるための相談及び支援等となります。

訪問支援者は、保健師や保育士などの専門的相談支援者、訪問介護支援員やヘルパーなどの育児家事援助の訪問支援者で、利用者の費用負担は無料となります。

行政報告

赤潮の被害状況

本年9月中旬より道東沿岸において広範囲な赤潮が発生し、本町においてもエゾバフンウニや秋サケへの影響が出ている。安心して漁業者が漁業

活動を営み、水産業の維持・発展をしていくため、10月4日に十勝管内沿岸4町長と3漁協の組合長が北海道知事宛ての緊急要請書を十勝総合振興局長へ提出した。

今後情報収集に努め、関係市町村や関係団体と連携協力を図りながら、国や道などへ要望・要請を強化していく。

ひろお毛がにまつり

集客イベントとしての開催は今年も困難であると判断し、昨年同様オンラインでの毛がに販売やプレゼント抽選を実施することとした。

令和3年度 補正予算の内訳

一般会計 ⑧	76億5748万円	2773万円	増
--------	-----------	--------	---

※会計名の後の丸数字は補正回数（1万円未満切り捨て）

◆ 令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業 ◆

※第6回臨時会（10月）

事業内容	充当額
葬斎場飛沫防止パーティション	9万円
病院運営交付金（エアコン整備）	75万円
中小企業緊急経営支援給付金給付	2409万円
イベント中止に伴う事業者緊急支援給付金給付	170万円
修学旅行キャンセル料（小・中学校）	109万円

（1万円未満切り捨て）

※第2回定例会（6月）

病院運営交付金（自動精算機）ほか9事業 2505万円

※第3回定例会（9月）

地域振興プレミアム付商品券発行事業補助金ほか7事業 5584万円

考えた!



総務常任委員会

委員長 旗手恵子 副委員長 北藤利通

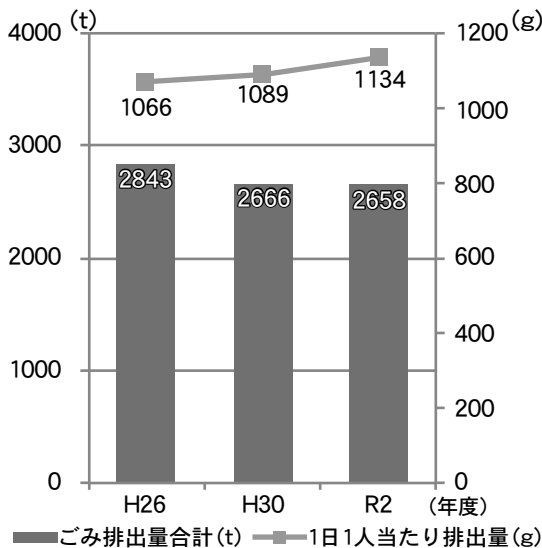
調査日 令和3年7月26日

の現状 所管事務調査

ごみ処理の現況と リサイクルの取組は

～南十勝環境衛生センターを視察～

ごみ排出量の推移



広尾町のごみの量

南十勝環境衛生センター（南十勝複合事務組合所管）の視察を行い、施設の概要や業務内容、ごみ処理の現状等についてセンター所長、町から説明を受けた。

減量化への取組

特に生ごみは、漁業の町であるという地域性も相まって、他町と比べてごみの水分が多いことが指摘されている。

ごみの減量化を図るためには、消費の過程で廃棄物の発生量を抑え、環境への負担を軽減させる必要がある。

広尾町のごみ排出量は全体として年々減少傾向にあるが、主な要因は人口減少によるもので、町民1日1人当たりの排出量は増加傾向にある。

内訳は、燃えないごみや燃やせないごみ、大型ごみの増加によるもので、例えば、①買い物の際にはエコバックを使用する、②食品ロスを削減し、家庭でのごみをなるべく減らす、③生ごみは水切りを徹底する、など町民一

現地視察

人ひとりが消費者の立場で、不要な消費や過剰包装を減らすことが大切である。また、リサイクルの推進も重要な取組の一つであり、資源回収率向上のため、町としては、引き続き広報紙や防災無線等で「正しいごみの出し方」の周知を図っていく必要がある。

南十勝環境衛生センターを視察し、ごみ処理の方法等の説明を受けた。

毎日、車で約100台のごみの持ち込みがあり、ごみの出し方では、ペットボトルのラベルやキャップを取り、洗浄して出すことで虫が寄りにくくなる。また、紙パックは切り開いて洗浄して出すこと、新聞・雑誌・紙パックは分別を徹底すること、マイクログラスチック・粗大ごみ等は飛散させないことが大切とのことであった。



問

今後くいりんセンターに移行するが、バグフィルターの交換はいつか。

答

目安は8年に1回で、昨年交換した。令和9年度にくりりんセンターへ移行予定のため、無駄のないようにする。

問

広尾町は他町よりごみの水分が多いが、何か取組を行っているか。

答

他町村の取組は今後調査し、ごみの出し方については広報紙での特集掲載などを検討する。

産業常任委員会

委員長 渡辺富久馬 副委員長 浜野 隆

調査日 令和3年7月30日

見た！
聞いた！



ひろお

常任委員会

新規就農の実態は

～農林人材育成支援センターを視察～

新規就農者数の推移

年 度	新 規 就 農 者 数				計
	新規学卒	Uターン	新規参入	うち農家出身	
H23～H27	5	5	2	1	12
H28	1				1
H29	1				1
H30		1			1
R1	1	3	1	1	5
R2	2	1	1		4
合 計	10	10	4	2	24

新規就農の経過

農林人材育成支援センターの改修状況を視察し、新規就農者との意見交換を行った後、新規就農の実態と今後の展望について説明を受けた。

新規就農者は、平成23年度から10年間で24件となり、うち新規学卒及びUターン就農者は比較的顺序調だが、対策の柱としている新規参入者は4件にとどまっている。

農業の現状と課題

広尾町の農業は、冷涼な気象条件や豊富な清流を生かし、地域を支える基幹産業として発展してきた。

しかし、平成23年度から10年間の離農戸数は26戸であり、生産現場では離農が続いているため、次世代の担い手が将来に希望を持てる政策の確立が不可欠である。

新規就農の支援策

① 受入体制づくり
② 農業担い手育成センター

専門員による就農希望者への情報提供や相談業務、配偶者対策等。
■ 広尾町農政推進協議会
農業生産対策、経営対策、後継者対策等。
■ サンタランド農業未来ラボ
就農研修の企画・受入や研修から就農後までをフォローする体制づくり。

② 各種財政的支援策

■ 長期農業研修時支援(国事業)

農業技術及び経営ノウハウ取得のため研修に専念する就農希望者を支援。

■ 就農時支援(国・町事業)

国では、経営リスクを負う新規就農者の早期経営安定化を支援。

町では、新規就農者誘致に関する特別措置条例に基づく奨励金等を支給。

③ 農活チャレンジ応援事業

農林人材育成支援センターを拠点とし、8月下旬に受入を開始。全国から人が集まる次世代型の楽しい農業の確立を目指す。体験研修で年間150人の利用を見込み、実践及び就農研修では年間入所者6人を目標とする。

今後の展望

魅力的で活気ある農村社会へ発展していくことを理念とし、①新たな人材の発掘と育成、②中小家族経営の体力強化、③円滑な経営継承の実現、④女性の経営参画促進の

4つの取組に、国や道の事業を組み合わせ、効果の最大化を図る。



就農希望者へのサポートが重要

問 新規就農の初期投資が1億円と聞くが。

答 令和元年に就農した法人は9500万円、令和2年に就農した個人は1億3000万円程度である。

問 女性経営者はいるか。

答 法人で1戸。女性で経営を目指す人は多い。

次のページは「議員協議会(第5次行革)」



※新規学卒 農家出身で学校を卒業後直ちに、又は卒業後に研修を経て就農した者
※Uターン 農家出身者で他産業に従事した後、就農した者
※新規参入 自ら農地を取得するなどして、新たに就農した者

率的な行財政運営に

持続可能な財政基盤の確立

第8回
議員協議会
8/17

取組の経過

「第5次行政改革大綱」

の計画期間は、平成30年度から令和6年度までの7年間の計画で、第5次まちづくり推進総合計画の最終年度である令和2年度までの3年間の前期推進期間、令和3年度から令和6年度までの4年間の後期推進期間としています。第6次まちづくり推進総合計画との整合性を図るため、新規取組は7項目、修正・継続は36項目の具体的取組事項について、見直しが行われました。

町民11人を委員とする行政改革推進委員会、追加の概要や後期の新規取組などを説明し、了承されました。

広尾町の将来にかかわる重要な問題であることから、広尾町議会では議員協議会を開催し、説明を受けた後、内容について質しました。

前期の行政改革（H30～R2の3年間）

効果額は **約2.4億円**

＜主な行政改革（新たな取り組み）＞

取 り 組 み	いつから 実施するか
内 容	効 果 額

ひとり親家庭等医療 給付の見直し	令和5年度	介護福祉金の廃止	令和4年度
北海道と同様の所得制限とする ※医療費の自己負担分の一部を助成	〈削減額〉 R5年度 85万円 R6年度 85万円	介護保険料の負担軽減を図るため、一部の低所得者に扶助していましたが、低所得者には保険料軽減の負担金もあることから廃止 一人（年額）8000円→0円	〈削減額〉 R4年度 102万円 R5年度 102万円 R6年度 102万円
重度心身障害者医療 給付の見直し	令和5年度	年末年始休日の見直し	令和4年度
北海道と同様の所得制限とする ※医療費の自己負担分の一部を助成	〈削減額〉 R5年度 75万円 R6年度 75万円	役場の閉庁日の見直し 現行 12月31日～翌年1月5日 ↓ 改正 12月29日～翌年1月3日	

他には・・・

- ・行政手続きの簡素化・効率化を図るため、押印を廃止しても支障のない申請書類の押印を廃止（署名又は記名）
- ・各種委員会委員等の報酬の見直しなど（4時間を超える会議等の日額報酬は2日当分）

※前期で取り組みなかった事項については、後期で実施します

町民からの意見公募

7/1～20実施

提出された意見は
3件ありました
（町広報9月号に掲載）



※議員協議会

地方自治法第100条第12項の規定に基づき、議案審査または議会運営に関する協議または調整を行う場として会議規則により設置された会議。各議会により名称は異なりますが、広尾町議会では「議員協議会」と称しています。
議員全員で構成し、議長が会議を招集しますが、議案の審議・議決は行いません。

より効

第5次 行政改革 (後期)

ここが聞きたい！

年末年始休日の見直し

問 町民の不便とならないよう十分考慮し検討している。

答 各関係団体には大きな影響がないと確認している。休日を変更することで国や北海道の機関等との連動が期待でき、十勝管内の町村と足並みをそろえることが出来るよう町民にご理解いただけるよう丁寧な説明をする。

組織機構の見直し

問 平成29年9月の行政改革大綱では、具体的な課の再編が示されていた。後期(案)は、令和3年度以降随時見直しするとなっているが。

答 現状では具体的な課・係の統廃合はない。随時相談し組織の見直しを図る。

職員給与の適正な管理

問 平成19年度から21年度まで給料の独自削減をしていたが、本町は人事院勧告を遵守し、継続実施していくのか。

答 町の基本姿勢は、人事院勧告を遵守する。

ふるさと応援寄附制度

問 ふるさと納税の充実強化に取り組む具体策は。

答 ①使い道の情報公開、②魅力ある返礼品の充実、③リピーター確保。

問 返礼品確保に不安定要素が多いとあるが、

課題と解決策は。また、歳出抑制の考えは。

答 毛ガニやイクラなどの季節的な返礼品は、好不漁の影響があり、価格の安定化も課題の一つであるため、安定して確保できる返礼品の種類を充実させたい。また、コスト意識を常に持ち、事務事業を進めていく。

問 到達目標の件数と寄附金額は実績値と乖離しているが。

答 目標数値に近づけるよう事務事業を見直し、今後もふるさと納税の推進に努める。

イベント事業の見直し

問 コロナ禍で各イベントが中止しているが、住民からイベントの満足度や意見を聴いては。

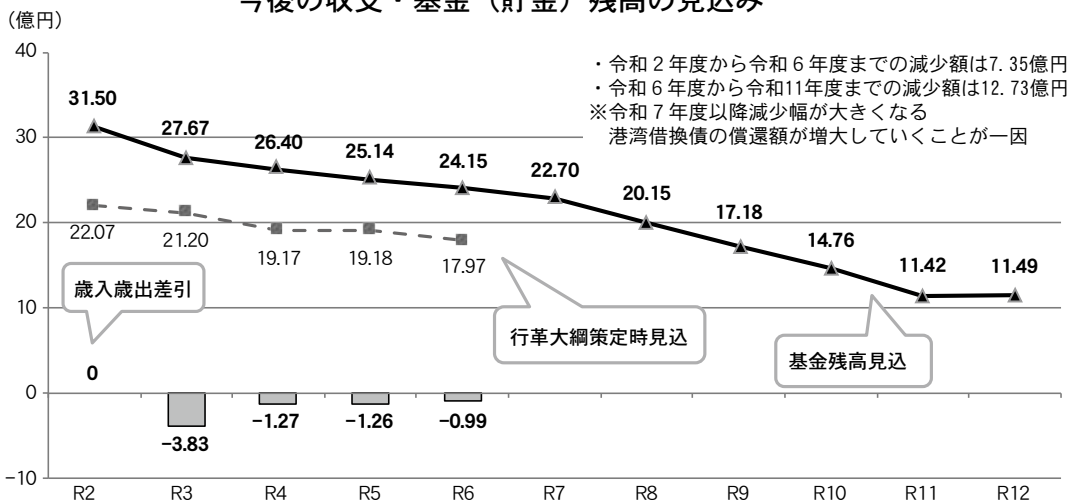
答 過去3年間で60事業の評価作業をした。その評価作業に住民参加を導入できるか検討する。

基金残高の見込み

問 まちづくり計画で防災公園の整備などが計画され、また、港湾借換債の償還額が増大する

答 が、財政状況の見通しは。予期せぬ社会現象や災害、感染症対策など考慮し、第5次行政改革終了後も引き続き堅実な財政運営を行っていく。

今後の収支・基金(貯金)残高の見込み



※実線 行革大綱取組による実績及び見込(令和3年5月現在)
 ※破線 行革大綱策定時見込(平成29年8月現在)



次のページは
「特集『200号 51年の歩み』」



194号

令和2年6月
現在の議会体制がスタート



200号

令和3年12月
200号(記念号)発行

これからも
議会だよりを
よろしくね!



173号



平成27年6月
表紙を変更



平成26年12月
「さーたちちゃん」着ぐるみ初披露

171号



さーたちちゃん
初登場~!

131号



平成16年12月
表紙を変更

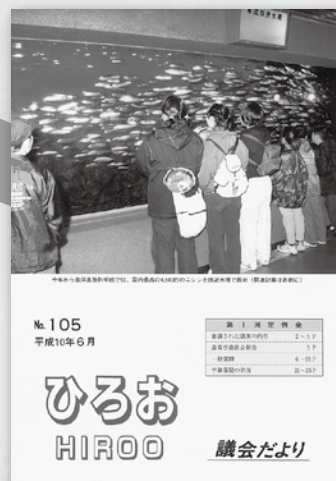


平成8年12月
十勝港新時代スタート

99号



3年間
フェリー就航



平成10年6月
カラー表紙でA4版に

105号



今のサイズに変更

広尾町議会だより

200号

51年の歩み

広尾町議会だよりが200号の節目を迎えました。
昭和46年12月の創刊から51年。紙面サイズの見直しなど、時代の流れとともに歩んできた議会広報紙を振り返ってみました。
これからも、住民皆さまと議会を結ぶパイプ役として、より親しみやすく、読みやすい紙面を目指して歩みを進めていきます。



200号を記念して
ツリーちゃんと
さーたちゃんが
紹介するよ！

創刊号

議会の審議
内容など
全14頁でお知らせ



昭和46年12月
「広報 広尾町議会」B5版でスタート

182号



平成29年6月
議会報告会の表紙



177号



平成28年5月
高校生議会の特集号発行



ページレイアウトも
リニューアルしたよ

54号



昭和60年9月
名称変更「ひろお議会だより」



66号

昭和63年9月
「十勝海洋博覧会」開催



議会活動日誌

令和3年9月～11月

【9月】

- 1日 第9回議員協議会
第5回議会運営委員会
- 7日 第3回広尾町議会定例会（～16日）
- 16日 第10回議員協議会
議会広報編集会議

【10月】

- 3日 町内会連合会創立40周年記念式典
- 5日 第6回広尾町議会臨時会
第11回議員協議会
- 18日 南十勝町村議会議員研修会
- 19日 中川ゆうこ出陣式（帯広市）
- 21日 第4回総務常任委員会
- 26日 産業常任委員会行政視察（士幌町、上士幌町）

【11月】

- 5日 第12回議員協議会
- 9日 議会広報編集会議
- 16日 第4回議会広報特別委員会

- 22日 十勝町村議会議長会役員会（テレビ会議）
- 25日 十勝圏活性化推進期成会臨時総会（帯広市）
とちか広域消防事務組合議会定例会（帯広市）
十勝圏複合事務組合議会定例会（帯広市）
- 29日 第7回広尾町議会臨時会

閉会中の所管事務調査

各常任委員会と議会運営委員会は、令和3年第4回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

◇総務常任委員会

- ① GIGA（ギガ）スクールの現状と課題について

◇産業常任委員会

- ①道の駅の開設経過と地場産品の情報発信について

◇議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の基本条例、会議規則等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

ぎかいトピックス

6／10 北海道議長会から表彰

小田雅二議員は町議会議員として25年以上在職し、議会制度の高揚と地域の振興及び住民福祉の向上など地方自治の発展に寄与貢献した功績が認められ、このほど北海道町村議会議長会から表彰されました。

10／18 南十勝町村議会議員研修会を開催

南十勝町村議会議員研修会を、新型コロナウイルス感染症対策を実施のうえ児童福祉会館で開催し、本町から10人の議員と議会モニター1人が参加しました。

今年は、地域社会・経済等の諸情勢を的確に把握し、地域課題についての情報交換を行うため、環境省帯広自然保護官事務所 自然保護官の山北育実氏を講師に迎え、「日高山脈襟裳地域の国立公園指定について」をテーマに講演が行われました。

※議員から提出されたレポートは、町ウェブサイトに掲載しています。



広尾町議会から町民の皆様へお願いします

①議場ではマスクを着用し、出入りの際には手指の消毒をしてください。

②傍聴席では間隔をあけてご着席ください。

③体調が良くないときは、傍聴をお控えください。

※町ウェブサイトから議会中継を見ることができます。

過去の
録画中継も
見れるよ



町ウェブサイト
「議会インターネット中継」
QRコード